

新大阪ロータリークラブ

創立 昭和 60 年 5 月 8 日

<http://www.shin-osakarc.jp>

- 事務局 〒532-0011 大阪市淀川区西中島5-5-15 新大阪フシントンホテルプラザ
TEL:06-6305-1010/FAX:06-6301-2525/E-mail: shin-osaka.rc@m6.dion.ne.jp
- 例会 毎週水曜日12時30分 新大阪フシントンホテルプラザ(TEL:06-6303-8111)
- 会長/中川 建司 幹事/村角 末義 会報委員長/稲田 正伸 会報編集委員長/生尾 雅美

四つのテスト

言行はこれに照らしてから I 真実かどうか II みんなに公平か III 好意と友情を深めるか IV みんなのためになるかどうか

No. 1253

Date 2011.10.19

*** 四つのテスト ***

言行はこれに照らしてから

1. 『真実』かどうか
2. みんなに『公平』か
3. 『好意』と『友情』を深めるか
4. みんなの『ため』になるかどうか

*** ロータリーの綱領 ***

1. 奉仕の機会として知り合いを広めること。
2. 事業および専門職務の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること。
3. ロータリアンすべてがその個人生活、事業生活および社会生活に常に奉仕の理想を適用すること。
4. 奉仕の理想に結ばれた、事業と専門職務に携わる人の世界的親交によって国際間の理解と親善の平和を推進すること。

<本日のプログラム>

第 1253 回例会/2011 年 10 月 19 日

本日の挨拶

「グッドアフタヌーン Good afternoon」(英語)

標語

「Reach Within to Embrace Humanity」
「こころの中を見つめよう 博愛を広げるために」

ロータリーソング「我らの生業」

我らの生業 さまざまなれど
集いて囃る 心はひとつ
求むるところは 平和親睦(やわらぎむつび)
力(つと)むるところは 向上奉仕
おおロータリアン 我らの集い

卓話

「スリランカを知ろう」
鑄方 貞了 国際奉仕委員長



第 1252 回例会報告 (10 月 12 日)

- 司会進行 SAA 谷口 会員
- ロータリー・ソング SAA 吉田 会員
- 来賓紹介 SAA 花原 会員
相模原中 RC 丸子 勝基 様
米山奨学生 楊 仲軒 君

■ 出席者報告 SAA 谷口 会員

第 1252 回例会 2011 年 10 月 12 日	
会員数 36 名	出席率 75.00%
出席数 23 名	欠席 9 名
出席免除会員数 4 名	
第 1251 回例会(10/5)	
メイクアップ 3 名 修正出席率 77.78%	
09/22 村木会員	
09/22 安井会員	
10/13 花原会員	

■会長の時間

会長 中川 建司
2011.10.12



財団法人ロータリー米山記念奨学会は、勉学、研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、日本全国のロータリアン(ロータリークラブ会員)の寄付金を財源として、奨学金を支給し支援する民間の奨学団体です。

1952年12月日本で最初のロータリークラブを創立した米山梅吉の功績を記念して、東京ロータリークラブが米山奨学制度を設立し、現在に至っています。

奨学金の種類

1. 通常の奨学金プログラム

①学部過程ロータリー米山記念奨学金(YU)

月額 10万円

対象 大学の学部3、4年目および医・歯・獣医学部5、6年目、高等専門学校専攻科1、2年目、専修学校高等専門士課程3、4年目

期間 最長2年間

②修士課程ロータリー米山記念奨学金(YM)

月額 14万円

対象 大学院修士課程1、2年目

期間 最長2年間

③博士課程ロータリー米山記念奨学金(YD)

月額 14万円

対象 大学院博士課程2、3年目、医・歯・獣医学部博士課程3、4年目

期間 最長2年間

④地区推奨ロータリー米山記念奨学金

月額 7万円

対象 短大・高等専門学校・専修学校専門課程に在籍する正規留学生

期間 1年間

2. 特殊な奨学金プログラム(延長・渡日前採用など)

①クラブ支援ロータリー米山記念奨学金

月額 14万円(半分を世話クラブが負担する)

対象 半年あるいは1年以内に博士号取得の見込める、博士課程最終学年の現役米山奨学生学部あるいは修士の最終学年に在籍し、同地区の修士あるいは博士課程へ進学する現役米山奨学生

期間 半年あるいは1年間

②海外応募者対象ロータリー米山記念奨学金

月額 学部生・研究生 10万円、大学院生 14万円

対象 日本の文部科学省が所轄する大学・大学院に学位取得を目的として入学する者、あるいは研究生として入学で、日本の入学希望から「渡日前入学許可書」の発行を受ける手続きを済ませた者、あるいは手続き中の者で、2012年4月、又は10月(もしくは9月)に入学する者

期間 学部生・大学院生 2年間、研究生 1年間

③海外学友会推薦ロータリー米山記念奨学金

月額 14万円

対象 すでに博士号を取得している上級研究員を対象とする

期間 1年間

2660地区は、全国的に寄付額・功労者数・奨学生も多い地区になっていますが、米山記念初学会の収支はここ数年赤字となっております。皆さんの一層のご協力をお願いします。

■東日本大震災義援金報告 10月12日 2,000円



ポール・ハリス・フェロー BOX

飯原会員、村木会員

本日の合計	2,000円
今年度累計	51,000円



米山ボックス

飯原会員、村木会員、山本会員

本日の合計	3,000円
今年度累計	52,000円



ニコニコ箱 報告

■SAA

花原 会員

相模原中 RC 丸子 勝基 様

本日はお世話になります。神奈川県相模原から参りました。今年になり、西中島に支店を設けましたので、時々寄らせていただきます。

久富会員 妻の誕生日に美しい花をありがとう。
 村木会員 前回欠席のお詫び。
 山本会員 毎日目が覚めると、あら、今日も迎えられたと思うこの頃です。

■幹事報告

幹事 村角 末義

1. 本日皆様のメールボックスに、10月5日の定例理事会議事録を入れさせていただきました。
2. 10月17日(月)18:30～ ワシントン23F「銀坐」にて、歴代会長・幹事会が行われます。出欠は本日締切です。お返事をよろしくお願ひします。
3. 日本ライトハウスより、2012年盲導犬カレンダー販売のお知らせが届きました。次週申込書を回覧します。

卓 話

子どもと罰ゲーム

ーバラエティ番組罰ゲームの利用と満足研究 小中学生を中心にー

関西大学大学院社会学研究科マス・コミュニケーション学専攻
 博士課程前期 楊仲軒



一・研究の背景と目的

いままでテレビの効果、影響は様々な研究があつて、本研究は利用と満足を焦点として現在日本と台湾においてバラエティ番組の罰ゲームと小中学生のいじめ問題について、実際の調査と理論の検討を行つて、新たな仮説と理論を作る。そして調査の結果を用いて、仮説を検証して新しい理論を確立する。

マスコミ研究の一分野として「〈利用と満足〉研究」(uses and gratifications study) というのがある。これは文字通り、受け手がマス・メディアをどのように利用し、どのような満足をえているかを研究する分野である。つまり、受け手を中心にマス・コミュニケーションを分析しようとするわけだ。前節の議論とは出発点がまるでちがう。この研究系譜によると、受け手はマス・メディア [おもにテレビ] を利用することによってつぎのような充足をえているという。

(1) 気晴らし

- a 日常生活のさまざまな制約からの逃避
- b 解決しなければならない諸問題の重荷からの逃避
- c 情緒的な解放 (泣いたり笑ったりしてスッキリする)

(2) 人間関係

- a 交友関係 (メディア内の登場人物との疑似的な社会関係)
- b 社会的効用 (家族や仲間などといっしょに楽しんだり、メディアの内容について話したりする)

(3) 自己確認

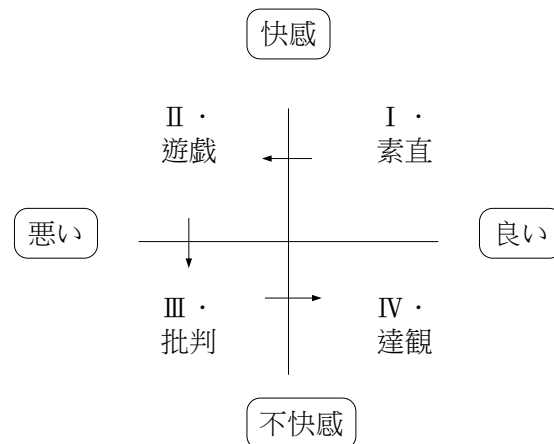
- a 個人についての準拠（自分の状況・性格・生活について番組内容に照らし合わせて自己確認する）
- b 現実の探究（身近な問題の対処の仕方を学ぶ）
- c 価値の強化（自分の考えなどが正しいということを番組内容にみつけて確認する）

(4) 環境の監視（自分にとって間接的な公共的世界のできごとを知る）

二・仮説

本研究は利用と満足理論を参考して、以下の仮説を作った。

仮説の中心は、小中学生はバラエティ番組の罰ゲームに対する見方は年齢別でそれぞれ変化すると仮定した。そしてタイプⅠとⅡは遊戯な感覚で罰ゲームを真似して、いじめの手段として使われている可能性がある。



タイプⅠ：単純に、素直で番組を楽しむ

タイプⅡ：遊戯の感覚で受容する

タイプⅢ：批判的目線で番組を評価する

タイプⅣ：達観的テレビ内容を受け入れる

三・調査と検証

調査対象：台湾小中学生 1000 人

(小5小6：グループ1 中1中2：グループ2 中3グループ3)

調査方式と時間：集合法、2011年9月13日

回収有効データ数：982人（98.2%有効）

クロス集計の結果によって、仮説のようにグループ1は素直的な見方が多数、グループ2は遊戯的な見方が多数、グループ3は批判的な見方が多数であるという結果が見られた。

そして、データ分析の結果、子どもとテレビとの接触時間長いグループはいじめ行為と接触する経験、罰ゲームを真似する経験も高い傾向が見られた。

今研究の分析によって、幾つの分析結果は子どもとテレビの直接、間接的な関係性を実証できた。だが、時間と勉強不足のため、本研究は幾つ甘いところがあると感ずる。今後、博士課程に進学するの課題として、調査の年齢層を拡大し、テレビだけではなく、インターネット、SNSなど新しいメディアにも検証したいと思う。



大和 式内社巡り 吉野編④

古代を学ぶ会

筑紫君磐井の反乱(内乱?)について記は簡単にその事実を紹介するだけですが、紀にはかなりくわしく書かれております。従いまして紀に沿ってこの乱の内容を説明することにします。

まず、その時期ですが、紀はこの乱が継体天皇の時代の527年から528年の2年間に起こったとしています。

ただこの点について、朝鮮の資料などを参考にして、530年から531年にかけて、と考えるべきとの主張があります。

さて乱の内容ですが、大和朝廷は近江臣毛野に命じて6万の大軍を任那に送ろうとしたところ、新羅と通じていた筑

紫君が、新羅の勧めもあって、海上封鎖して、半島諸国からの大和朝廷への貢献物を積んだ船を横取りしたり、九州に上陸した近江臣毛野の進軍をくい止めたりするのですが、大和から物部麁鹿火が筑紫に派遣され2年かかって制圧されたというものです。

この時代、朝鮮半島は、南への進出をはかる高句麗、それをくい止めつつ自らも半島南部への支配を及ぼそうとする百済と新羅、そして鉄の生産地、供給地として半島南部に位置する金海方面を重要視する大和等、非常に複雑な状況だったのです。従いまして、大和が、それが大和朝廷独自の判断か、あるいは友好国百済からの要請かのいずれかは分かりませんが、軍それも大軍を半島に送ろうとしたこと自体は事実だと思われます。又、筑紫君磐井が新羅との強い結びつきをもっていたのも事実のようで、この乱が新羅からの勧めによるものであったということも十分に考えられます。

さて、その原因ですが、大きくはこの戦いを百済と新羅の戦いの延長線上ととらえることも可能かなと思われます。

大和がこれまでに倒してきた葛城王国、吉備王国、そして筑紫王国はいずれも親新羅勢力であることを考えると、筑紫君と親百済派である大和とはお互いいつかは戦わざるを得ない関係であったと思われます。ただ今回の乱の直接の原因としては、半島への進出航路つまり港、具体的には那津(博多)やその西の怡土郡、さらにその西方の松浦津(後の唐津)等の港の争奪戦だったのではないかと思われます。

先程お話したように鉄の確保のため、あるいは百済の上番制に基づいての新しい文化、技術の移入のため、どうしてもより安全な航路を確保したいという大和と、良港を持ち続けることにより九州北部と半島間の航海の主導権をもち続ける独自に大陸、半島から文化、技術を導入し続けたいとする筑紫君の戦いだったのです。この戦いで勝利することにより、大和はこれから以降、大陸、半島からの文化、技術を独占することになるのです。

今回は筑紫王国の支配者並びに支配領域についてお話しします。

古代を学ぶ会 村木 茂

6. 伊波多神社(いはたのじんじゃ) 祭神:不詳 一説には 石長姫



《鳥居と本殿のみのシンプルな神社。》

所在地は、奈良県吉野郡天川村和田。村名と同じ「天ノ川(てんのかわ)」が南流してきて西へ向かう湾曲したところ、川をはるか眼下に望む高所を通る県道53号線沿いに、いかにも古社らしい姿で鎮座している。

祭神は古文書各書不詳とするが、明治3年(1870)「大和国大小諸神社神名記並縁起」に大山祇神(おおやまつみ)の娘で、木花開耶姫(このはなさくやひめ)の姉の「石長姫(いわたがひめ)」とある。また、当地の古老によれば「五瀬命」あるいは「八幡大神」と伝わっているという。当社の西約300mのところにある真宗永豊寺には、元この神社の本地仏であったという「八幡大菩薩(後醍醐天皇の親作)」を安置している。

当社の由緒も不明である。江戸時代には「立和宮」や「立和社」、「八幡太刀大明神」と称していた。神社真下は「明神淵」と呼ばれ、後醍醐天皇の太刀が流れ着いたとい

う伝説が残る。

「明神淵」はブルーグリーンの澄んだ水をたたえ、その美しさはまるで別世界である。川の対岸には天和山(1284.7m)や瀧山(1140m)が聳え素晴らしい渓谷美を見せてくれる。

大阪市内から2時間弱で行けるので、ぜひ訪れてみていただきたい。但し、道路は狭くバスも通るのでひやひやする箇所が多々ある。運転には気を付けて。



《上・右上:美しい水の色を目の当たりにできる明神淵。》

伊波多神社・波竇神社・

波比売神社・丹生川上神社(下社)

(波竇神社以下次週より掲載の予定)



MEMO



本日のメニュー

カリフラワーのクリームスープ
シブレット風味のすずきの網焼き
椎茸の薄切り添え
鴨とラ・フランスのサラダ
パンとバター
珈琲



次週のプログラム



第 1254 回例会 / 2011 年 10 月 26 日

◆挨拶

「グッドアフタヌーン Good afternoon」
(英語)

◆ロータリーソング 「我らの生業」

◆卓話

公開卓話

「民間電報サービスについて」

榊しょうわ代表取締役 川田 元様

新大阪 RC のホームページも是非ご覧ください！

ホームページは随時更新しております。トップページの「トピックス」より、行事の写真もご覧いただけるようになりました。週報もアップしていますので、ぜひアクセスしてください。

<http://www.shin-osakarc.jp/>

社会奉仕委員会より

引き続き震災義援金のご寄付を

よろしく願います。

*** エンブレムの囁き ***

1. あなたは私を信用して頂いて結構です。私は信用に値します。
2. 私の用意はできています。何時でも貴方のために奉仕できます。
3. 私は、受ける以上のものを貴方に与えます。私は人のために奉仕します。

予定表

月	日	曜日	予定	時間他
10	19	水	第1253回 例会 「スリランカを知ろう」 鑄方貞了国際奉仕委員長	13:30～ 絵画クラブレッスン
	22	土	地区財団 FVP セミナー 14:00～16:30 大阪 YMCA 会館	片岡会長エレクト・遠藤 R 財団委員長出席
	26	水	第1254回 例会 公開卓話 「民間電報サービスについて」14:00まで	榊しょうわ代表取締役 川田 元様
11	2	水	第1255回 例会 第5回クラブフォーラム「R財団委員会」	13:30～ 定例理事会
	6	日	スリランカ GSE チーム歓迎晩餐会 18:00～シティプラザ大阪	会長・幹事・片岡会員出席
	9	水	第1256回 例会 会員組織委員会(増強)「増強バズセッション」	
	11	金	～12日(土)2011～12年度地区大会 11日シェラトン都ホテル	12日 本会議 NHK 大阪ホール
	13	日	歩こう会「金毘羅大作戦」第7回	9:30JR 姫路駅集合

イラスト提供 : <http://kikyouya.huu.cc/>・<http://www42.tok2.com/home/mayflower/> 他